



森の守護神

森ボラ 通信

第 47 号 2006 年 4 月 20 日発行

N P O 法 人 北 海 道 森 林 ボ ラ ン テ ィ ア 協 会

札幌市中央区南 2 条西 2 丁目金市館ビル 8F

Tel:241-8155 Fax:241-8308

E-mail:h-shinrin-v@indigo.plala.or.jp

URL:<http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

■トピックス

◆ 山仕事始動



いよいよ山作業が始まった。——4月1日、澄川での活動は、そう実感できる内容でした。久し振りの真駒内駅に、一人、また一人と集まった仲間は総勢 24 名。待ち侘びたシーズンの到来に、どの顔も上気して輝いていました。この日は活動場所の拡張部分の視察を兼ねた活動でしたが、冬の間にじっと貯め込んだエネルギーが一気に吹き出したようです。巣箱かけ、集材、樹液採取と、ブランクを感じさせない手際良さとチームワークで、作業は小気味良く進みました。

木工活動でつくった巣箱 70 個は、ゴミの不法投棄を少しでも減らしたいとの思いから、手入れをしている山の目印としてドライバーに見えるように道路ぶちに設置しました。雪の下からは早くも信じ難いゴミの一端が顔を覗かせており、やるせない気持ちと共に、諦めないぞと巣箱の紐を結ぶ手に力を込め、気を引き締める思いにもなりました。道路ぶちに山桜並木をつくろうとのアイデアも出ています。ライラックという声もあります。平気でゴミを捨てる気持ちを躊躇させる手立てをなんとか考えたいものです。

集材は、野幌の植林地に設置する看板用にちょうど良い太さのミズナラの倒木を探し、皮をむきカットして、シートに包んで雪の上を滑らせながら力を合わせて運びました。シラカバとイタヤの樹液は、木の選択と時期のタイミングが良かったようで、数時間で 1L ほど採れて力仕事の後に何よりのご馳走となりました。

お弁当を広げた拡張部分入口の広い平坦地については「間伐材を集めて炭を焼こう」「入口のゲートを撤去して木柵をつくろう」「柵は必要なかろう。平坦地には木を植えて森に戻そう」など意見は尽きず、それだけに可能性の広がりを感じられ、面白い活動地になりそうな予感にワクワクし、仲間っていいなとしみじみ思った春の一日でした。(柴田記)



◆神宮境内林地活動と奥宮「神社山」整備

神宮境内は①参拝者②早朝ラジオ体操参加者③散策者等々が立ち入ります。入境内者に対する安全の確保、「鎮守の森」としての森林機能の保持と品格の維持を目的としての森林整備活動を目指します。本年度は「神宮祭(6月14～16日)開催前までに境内前域林の掃除伐を行うことを手始めに以後枯木、枯枝、ニセアカシヤ退治等を行います。境内に配置するベンチや腰掛け丸太の設置場所を神宮側とともに現地で確認



します。これらの腰掛けやベンチを裏境内で制作し設置します。裏境内林の苗畑のメンテナンスは継続します。

別に奥宮の設置が予定されている「神宮山」の整備について具体的な打合せを進行させます。順調であれば今年度が開始初年度となります。他に玉串用のイチイの生小枝を生産するイチイ畑の開拓を視野にいれます。(芝 記)

◆リンゴ園はじまる

一昨年(2004)は台風 18 号で甚大な被害を受けましたが、昨年(2005)は平年並みとのことでした。今年は老木を数本撤去し、品質の良い上玉リンゴの収穫を目指して当協会として最大の協力を行います。まず、天候に恵まれ風害のないように祈りながら、本年最初の枝切作業を 3 月 24 日(金)会員 20 名参加のもとに開始されました。これまでのやり方であれば 4 月一杯 8 回のスケジュールを組んでおりましたが、昨年新規に装備しました移動式チッパーを持ち込みまして処理しましたところ、期待以上の威力を発揮しまして



3 回の作業日数で片付きました。以後の 4 回の作業日をパスすることになり、再開は 4 月 22 日からとなりました。園主のご好意により、恒例の花見パーティーを 5 月の開花時期(中旬)に行います。

また、当会に 3 本(1 万円/本)を提供していただきました。花見パーティーおよび秋の収穫祭にはこぞってご参加ください。

これから花摘み、幼果摘み等々最繁忙期となります。ご支援よろしくお祈いします。(芝 記)

◆サッカー植林



「地球温暖化防止サッカー」「サッカーわが命」は 6 月に植林支援に訪問予定の中央アメリカ ホンデュラス共和国インテブカ県サッカー少年団のキャッチフレーズです。

サッカー少年団の運営主幹の米国人生態学者キャロル・クロス博士はホンデュラスの中央高地に住み込みながらこのキャッチフレーズで米国内で資金を集め原住民の子供たちがストリートチルドレン化するのを防ぐ目的でチームを運営しています。団に入ると植林が義務付けられています。

千葉県若松小学校 5 年生から「木の里親運動」として寄せられた募金を届けるのですが、そのときの手土産にサッカーボールと思ったのですが高くてコン

サドーレの児玉芳明社長に中古品をいただけないと高野さんと訪問してお願いしたところ、4 月 7 日 1 ダース寄贈いただきました。

ところがサッカー植林は身近にもあったのです。東雁来の札幌サッカーアミューズメントパークに 1500 本の木をコンサドーレサポーターと一緒に植樹する計画を児玉さんは持っていたのです。苗畑を作り子供たちに木の種を蒔かせたい、ビオトープも作りたいとの夢ももっています。

サッカーの審判もできる会員荻田さんを窓口にしてこの「コンサドーレとコラボレーション植林」をぜひ成功させたい。

(高野さん柴田さん小生の共通の知人の児玉さんがいまや株式会社北海道フットボールクラブの社長なのです。人との繋がりは年をとっても大事なものであると感じている。) [酒井 和彦記]



コンサドーレの児玉社長による関連記事が下記のブログでご覧になれます。

「コンサドーレが何倍も楽しめる社長日記」<http://www.consadole.net/kodama/>

■今月の幹事会

4月10日(月)出席者：荻田、酒井、芝、杉本(茂)、高野(豊)、西野(悌)、棟方、村上(昭)、山中、和田

- 1 定期総会に向けて
理事推薦 杉本さん
幹事推薦 荻田さん、和田さん
- 2 総会対応
議長 横山理事長代理として→代表幹事酒井さん
議事録署名人 荻田、杉本、和田
- 3 年間スケジュール調整および6月作業計画の見直し
- 4 澄川作業について
ゲート整備、生垣的な植木をする。
- 5 北海道神宮奥宮整備
計画調整中。入り口の地主との調整も必要。
- 6 平成18年度 作業計画
澄川のコンセプト(案) 「癒しの森」
西野のコンセプト(案) 「郷土樹種育成モデル林」
有明のコンセプト(案) 「学びの森」
- 7 4月「森ボラ通信」記事
澄川初日→柴田
札幌市有林→山中
ホンデュラス(コンサドーレ)→酒井
神宮奥宮査察→芝

■おしらせ

◆ 定期総会のご案内

4月24日(木) リンケージプラザ

15時～16時 理事会および総会準備

☆16時～16時45分 総会

総会議案

平成17年度活動報告および決算報告
平成18年度活動計画および予算
役員および幹事人事

4月20日現在

委任状到着 30名
出席予定者 28名 計58名
過半数をクリアできる見通しとなりました。ご協力ありがとうございました。

◆ 例会のご案内

5月10日 13時30～16時
リンケージプラザ 第2研修室

◆ 街頭募金の集合場所と募金時間

場所 林業会館(北4西5)北海道森とみどりの会会議室
期間 5月9日(火)～14日(日)まで
時間 受付9:00
募金活動 午前の部 10:00～12:30
午後の部 13:30～16:00

今年は活動日と重なってしまいましたが、可能な方は出来るだけ参加してください。

北海道神宮植樹の中止
5月21日(日)の境内カミネッコ
ン植樹は中止となりました。

◆ 会員の動向

入会者 吉本史郎

■活動履歴

活動日	場所	参加人数	活動内容
4/17	杉本邸	15	木工
4/10	金市館 8階会議室	10	4月幹事会
4/1	澄川	24	巣箱かけ、拡張部踏査
3/27	杉本邸	20	巣箱づくり他

■ひとこま

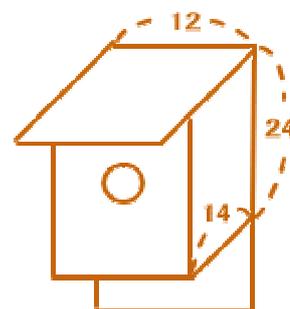
◆巣箱づくり

3月27日(月) 木工の日 参加者 20名



前回の木工の日(3/14)から巣箱を作り始め、今日で2日目。ストーブを焚いても暖かさの届かない寒～い車庫の中で、トントンと金槌の音を響かせて合計110個の巣箱が出来上がりました。

縦24cm、横12cm、奥行14cm、丸窓直径3cm。



4月1日(土)に、澄川へ70個持って行き取り付けました。この巣箱の丸窓から孵化した雛が、青い空へむかって飛び立って行くのが楽しみです。(杉本則 記)

◆植木屋もセミプロ

木工の日、通りがかりのご婦人から「引越しで要らなくなった庭のイチイの植木を材料に欲しい」という申し出があり、酒井さんが見にゆきました。「できれば、生かして欲しい。神宮に何とかできないかとお役所に電話した」という話なので、どれどれと私も見にゆきました。大きくて見事なイチイが3本もありました。たしかに切り倒すには忍びないことがよくわかりました。早速神宮にお願いしましたところOKとなりまして、緊急の移植仕事を手伝うことになったのです。神宮に出入りしているプロの植木屋と一緒に根堀から根巻をやり、吊り上げてトラックの荷台に固定するまでのユニック操作を見学しました。神宮ではとりあえず仮植しました。本植は雪が溶けてから社務所の西側になるものと思われます。

